



令和7年度一学期、残りわずかです

今年は、ほんのわずかしかなかった梅雨ですが、最近は、30℃を超える日が続いています。雨天も困りますが、晴天でも、ここまで暑いと、子どもたちの活動にいろいろな制限が出てきます。熊本県内でも、田植えの行事の際に、中学生が熱中症になったニュースもありました。本校では、黒球式熱中症指数計を校内2箇所に設置して、「W B G T 温度」を指標として、子どもたちの昼休み等の運動を制限しています。せっかくの昼休みに、児童が運動場等で楽しく遊ぶのを制限するのは、校長としても心苦しいのですが、熱中症危険度31を超えると、悲しい、あってはいけない事故につながる可能性が出てきます。保護者の方々も、以前とは違う異常な暑さは、体感として感じておられるとは思いますが、御理解をいただき、休日やこれから迎える夏休みの過ごし方について、お話しいただくようにお願いいたします。少しでも暑さを和らげる、水泳の授業も、気温と水温が高くなっていますが、プールサイドの歩行等も、町内校長の中では、心配事の一つになっております。昔とは違う暑さに、子どもたちが、安全・安心に過ごせるよう、本校も努めております。



ありがとうございました

令和7年7月4日（金）に実施したP A T 授業参観、学級懇談会、心肺蘇生法講習は、御多用な中、御参加いただきありがとうございました。校長は、別の公務のため、不在にしておりました。子どもたちの学びの様子は御覧いただけましたでしょうか。夏休みを前に、保護者と学校で共通理解をしておきたいこと等についても、懇談会で各担任から話をさせていただきました。夏休み前に、しっかりとお話を機会がとれて、よかったです。



誰と、どこで、何をする・・・

「行ってきます。」子どもさんは、遊びに行く際言葉にしていますか？夏休みを前に、お願ひしたいことがあります。「誰と、どこで、何をする、何時ごろ帰る」を子どもたちと確認をしてください。低学年は、聞いてあげてください。高学年は、言わせて、習慣付けてください。また、帰ってきたら、遊びであったことを、聞いてあげてください。

安全に遊んでいるかを確認するのは当然ですが、事故等につながる危険な場面はなかったのか、を確認するうえでも重要です。「ヒヤリハット」事故にはつながらなかったが、事故になってしまふかしない事案を知ることにもつながります。夏休みだけでなく、休日でもお願ひいたします。

情報機器の安全利用に関するガイドライン

本校では、正確に調査をしたことはありませんが、小学生の携帯電話、スマートフォンの所持率はどのくらいだと思いますか。持たせる、持たせないは、保護者判断ですので、そこには何も言えませんが、使い方に関しては、情報安全、情報モラルの面から、指導するべき内容があると考えています。以前、全国ニュースにもなったS N Sで知らない人と、簡単につながる、会う、といった問題から、本町でも「情報機器の安全利用に関するガイドライン」を作成しています。時代に合わせた改定を進めていますが、通信機能を備えたゲームをはじめ、家庭でのルールづくりの必要性が叫ばれています。教育基本法にも謳ってあるとおり、「教育の出発点は家庭教育から」です。子どもさんとしっかりと話し合ってみてください。

ちょっと一言
町生徒指導連絡会があり、あいさつの重要性について、関係者で確認をしました。凡事徹底と言いますが、子どもたちにも、そのたいせつさを、伝えていき実践していきます。